



伊予三島ロータリークラブ

2024-2025
WEEKLY

No.21
令和6.11.22
第3431回



「マンゴーとレイン」 坂田 瑞来



2024-2025年度国際ロータリー会長
Stephanie A. Urchick (ステファニー A.アーチック)

事務局	四国中央市金生町下分789-1	四国中央商工会議所内
	http://www.iyomishima-rc.jp	TEL(0896) 58-3530
	E-mail:iyomis@iyomishima-rc.jp	FAX(0896) 58-6294
例会	金曜日 12:10~13:10	
■会長	佐々木弘実	■幹事/井川 正
		■会報委員長/中野 航

クラブ奉仕委員会

近 藤 楓

私は、小学校1年生の時にバスケットを始めました。叔母がバスケットをしており、クラブチームの練習に連れて行ってもらったのをきっかけにミニバスのチームに入りました。小学校の間は遊びの1つにバスケットがあり、高学年の時に初めて生でプロの試合を観戦した際、バスケット選手に憧れを持ちました。

中学校もバスケット部に入部し、3年間厳しい走り込みをたくさんしたこと基礎体力がつけました。当時のチームメイトとは厳しい練習を共に乗り越えてきたので、今でも仲が良く食事にもよく行っています。

高校進学の際、進路の選択に迷いましたが、最終的にバスケットか勉強、どちらを選ばなかったら後悔するかを考え、不安がながらも大好きなバスケットに打ち込める高校に進学することに決めました。この選択は私にとって1つ目の大きな選択であり、プロバスケット選手やオリンピックに繋がる選択だったと思います。人生の選択は悩みますが、最後は後悔のないように自分の意思で決めることが大切だと思います。

高校では、全国大会に出場することを目標にしていました。初めは上手くいかないことばかりで、厳しい練習に涙を流したこともありましたが、「雑草魂」と「謙虚な気持ちを忘れない」という2つの言葉は、選手を続ける中で、人として自分の原点となったと思います。バスケット選手を引退した今でも日常生活の中で私が大切にしている言葉です。目標の全国大会出場は叶いませんでしたが、スリーポイントを武器に愛媛県代表として国体に出場することができました。この経験が自信になり、やれるところまでバスケットを頑張りたいという思いで、大学もバスケットの強豪校へ進学しました。

大学では、2年生の時に全国大会で準優勝し、順調でしたが、3年生からはチームがなかなか勝つことができず、焦りから自分のプレーも上手くいなくなり、自信を失ってしまいました。いつもなら入るシュートが入らなくなり、ボールを持つのが怖くなっていました。この時に初めてバスケットを辞めたいと思い、人生で一番の挫折を味わいました。苦しい毎日でしたが、ここまでバスケットをやってきて途中でやめる勇気はありませんでしたし、自分の決めた道でしたので毎日頑張るしかありませんでした。大学でバスケットを辞めようと思い、就職活動を行っていましたが、ありがたいことにプロチームからのお誘いがありました。自信を失っていましたが、プロに行けるチャンスがあるのに本当に辞めてしまっていたのか、後悔しないのかよく考え、最終的にプロに行くことを決めました。この決断は、私の中で2つ目の大きな選択だったと思います。

プロバスケットチームのトヨタ自動車に入社し、プロ選手として毎日バスケットだけの生活が始まりました。小学校の時に憧れたプロ選手と日々一緒に練習できるのが本当に刺激的でたくさんの方の事を学びました。ありがたいことに1年目からレギュラーで試合に出場することができ、プロの試合でシュートを決めていく中で、徐々に自信を取り戻して自分らしいプレーができるようになりました。そして、結果を残す中で、日本代表への道が開けました。

2015年にユニバーシアードという国際大会に初めて出場し、これをきっかけに日本代表の合宿にも呼ばれるようになりました。そこで、自分にもオリンピックのチャンスがあると意識するようになりました。とにかく後悔のないように合宿で自分の力を出し切ろうと思い、メンバーに選ばれるために何が必要なのか、自分の武器と役割は何なのかを分析しながら、チームに必要な存在になることを意識して取り組みました。プレッシャーはかなりありましたが、私はただ後悔しないように自分が今できることに集中して一つ一つ結果を残し、オリンピック選手に選ばれました。本当にミラクルだと思っています。大学時代に挫折をしてバスケットを辞めようと思っていましたが、バスケットを辞めずに頑張ってきたよかったです。

オリンピック出場が決まった後も、日本代表として結果を残せなかったらどうしよう、何もできなかったらどうしようというプレッシャーはありました。しかし、この時もオリンピックという一生に一度の経験かもしれない大舞台上、「絶対後悔したくない!」という思いが強く、楽しもうという意識で試合に臨みました。結果は8位入賞でしたが、格上のチームにも勝利することができました。海外選手のパワーや上手さを肌で感じることで本当によい経験ができました。

オリンピックの後も、チームを移籍したり、日本代表活動を行いながら、選手を続けました。そして、30歳の時に選手を引退するという決断をしました。自分の中でやり切ったという思いがあり、30歳という節目でバスケット以外のことを学び、いろんな経験をしてみたいと思いました。現在は市役所で働いていますが、様々な分野の仕事をする中で多くのことを学び、市民のみなさんにも還元できるというところに魅力を感じながら仕事をしています。大好きな地元で、周りにいる人を笑顔にできるように、自分が全力で楽しみながら様々なことに取り組んでいきたいです。

これまでの経験から学んだ、「感謝の気持ちを持って周りの人を大切にすること」、「謙虚な気持ちを忘れずいろんなことにチャレンジすること」、「コツコツと日々の積み重ねを大切にすること」、そして「ワクワクして楽しむこと」を忘れず、嫌なことがあってもプラスに捉えて笑顔で毎日頑張りたいと思います。



開会 佐々木弘実 会長

来賓紹介

四国中央市教育委員会生涯学習課 近藤 楓様

出席報告

出席会員 (33名中)	28名
出席免除会員	1名
出席率	87.50%
第3429回修正出席率	84.38%

会長の時間

○米山記念奨学会より、佐々木弘実会長へ
米山功労者寄付の『感謝状』

○定例理事会報告

- ・上期親睦家族会会計報告について 承認
- ・下期プログラムについて 承認
- ・こども食堂への支援について 承認
- ・12月度プログラムについて 承認
- 12/6 年次総会・次年度理事選出
- 12/13 プログラム・出席委員会
(下期プログラム発表)
- 12/20 クラブアセンブリー、定例理事会
(午後6時～、グランフォーレ)
- 12/27 休会

幹事報告

- ・地区国際奉仕委員会～
青少年短期交換プログラム報告書
- ・例会変更通知

(川之江)

- ①12月17日(火) 夜間例会
- ②12月31日(火) 休会
- ③1月7日(火) 夜間例会

(新居浜)

- ①12月26日(木) 夜間例会
- ②1月2日(木) 休会

例会行事

クラブ奉仕委員会
高岡 淳 委員長

ニコニコ紹介
佐々木弘実会長～

先日はお忙しい中、親睦旅行へのご参加ありがとうございました。天気も良く、美味しい食事に出来立てのビール！素晴らしい旅になりました。大西委員長 素敵企画ありがとうございました。

大西克弘親睦委員長～

先日の親睦家族旅行に参加して頂いた皆様、おつかれさまでした。おかげさまで、2日間楽しく過ごす事ができました。ありがとうございました。

田尾章典君～

先だっの親睦家族旅行の際、忘れていたケータイが無事、帰ってきました。感謝、感謝です！旅行ご参加の皆様には大変、ご迷惑をおかけし、申し訳ございませんでした。

山内一正君～

先日、家内と稲垣潤一、八神純子のジョイントコンサートに出掛けました。71才と66才との事でしたがどちらもエネルギッシュで特に八神純子は別格で、是非「日本初の女性首相に」と思った次第です。今日は いい夫婦の日、これであと2、3年はなんとか行けそうです。

竹本哲也君～

先日、うちの次男彰吾が2回目の結婚をいたしました。今度こそ幸せになってもらいたいです。

結婚記念祝～大西俊也君

12月13日プログラム予定 プログラム・出席委員会 (下期プログラム発表)
